

はリンク

はWAMNETの事業者情報にリンク

事業所名 グループホーム そよかぜ

日付 平成 21年 3 月 30 日

特定非営利活動法、

評価機関名 ライフサポート

評価調査員 介護支援専門員経験5年

評価調査員 介護支援専門員経験8年

自主評価結果を見る

評価項目の内容を見る

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)

1. 評価結果の概要

講評

全体を通して(特に良いと思われる点など)

男性利用者のEさん“いただきます”の挨拶で、ホームの昼食が始まる。自分の仕事を終えたEさんは満足の表情をみせる。食べるのが大好きな104歳最高齢のAさんは「早うよばれにゃ」と食欲旺盛だ。いつもは殆んど寝ているBさんも食べる時だけは目を覚まし、自分で箸を持って食べ始めるが、すぐに又寝てしまう。「今度は吸い物飲もうか?」職員が語りかけながらできない部分を介助する。デザートのみかんの皮むきを介助しようとした職員に「できる事はさせてあげて下さい。両手使えるんだから、自分でできるよ」管理者が声を掛ける。ホームは自分でできる事は、自分ですよう気長に見守る支援に取り組んでいる。「できる事はしよんとできんなる。私は姑さんが難しかったから仕込まれて、お陰で何でもできるようになった」小柄でチャーミングなCさんが教えてくれる。「私も昔はおのお姉さんぐらい太ったんで、Cさんに指名された職員は「私よりもっとじゃろ」と言い返す。遠慮ない会話が心地良い。「Cさんは美川憲一の物マネ上手なんですよ。あの服どこへいったかな?」職員が捜してきた美川憲一の服(?)を羽織るとCさんはニターッと笑ってその気になる。「そうよ、私はマイクを握ったつもりで手を握り、体でリズムをとって歌を披露すると、皆大喜びで拍手喝采。「うん、ええ趣味じゃ」もの静かな男性Oさんも褒めてくれる。美川憲一になれるスパンコール付派手服を指差し「金と銀じゃ、あれ着たい」他の利用者が羨ましがると「あれ着たら美川憲一になって歌わにゃならんよ」と職員は言い「これ着たら若うなるよ」Cさんが返して、皆で大笑い。屈託なく明るい笑顔が広がる。職員は、耳の遠い人には筆談で、殆んど寝ている人にも耳元で、こまめに声をかけている。皆と一緒がよくて、利用者達は居室に帰っても1時間もすると又、リビングルームに出て来てしまう。「何でもせにゃあおえん、何もせんとボケてしまう。あの千羽鶴はわしが作った」Dさんの部屋には小さな鶴や、4羽つなげた鶴等の力作がいっぱいある。「脳の血管切れてここへ来て、最初の3ヶ月は何もせずに寝とった。わしは家に居った時も何もせんかった。じゃが手先だけは器用じゃったから、勧められて千羽鶴折てみたら夢中になってなあ、ありゃ体の筋は通るとるんかな、指先使うたら足もようなって、杖つかんと歩けなんだのに杖つくの忘れて歩き出して、自分でもびっくりした」ホームに来て元気になったと言うDさんに「やってみるか?」と誘われて、折り紙の指南を受けていると、あっという間に一日が終わった。一人ひとり個性的な利用者達とゆったり接する職員達に囲まれた、笑顔の絶えない穏やかで居心地の良いホームだった。

特に改善の余地があると思われる点

ホームは日々の様子を介護記録に記載し、変化があった時は施設介護経過に記録して、入所してから経緯を詳細に記している。更に、利用者の会話を拾い上げた言動の記録がもっと増えたら、その時々様子が鮮明に浮かぶその人の生きた歴史になる。それができるのはいも傍らにいる職員しかいない。重度化していく利用者達の今を残す取り組みに期待する。

2. 評価結果(詳細)

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	<p>1. 自主評価について…：岡山県下でも早い時期、平成14年に開設した当ホームの理念は、同一母体法人の5つのグループホーム全体で共通だ。時を経て、その思いは全くぶれることなく全職員に徹底させ、実現に努めているので、改善点はない。</p> <p>2. 全体的に見て…：ホームは“尊厳“個別ケア・選択の自由”を大切にサービスを目指している。その為に管理者は、利用者一人ひとりからしっかり話を聞いてコミュニケーションをとり、馴染みの関係を作り、その気付きを介護に生かしたいと考えている。利用者が寂しい思いをしないように寄り添う時間を作ろう、利用者全員と話ができるよう職員は散らばって座ろう。選択肢のある言葉かけをしよう等、職員会議からも、管理者・職員の本気の思いが伝わってくる。</p>		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>1. 自主評価について…：ホームは2階部分にあるので、外回り空間に制限はあるが、すでに出来上がっているハード面において、落ち着いた生活環境を提供できるよう取り組んでいるので、特に改善項目はない。業務を職員間で分担し、庭担当職員を決めて、外回り空間の有効利用に努める等の工夫も見られた。</p> <p>2. 全体的に見て…：今年の干支のネズミと並んで、ホームの入口には既に完成した来年の干支の牛の貼り絵共同作品が出番を持ち兼ね迎えてくれる。リビングルームにはクリスマスツリーを飾り、各居室のドアには手作りの折り紙のリースを掲げ、うきうきクリスマス気分だ。「クリスマスの次は正月じゃ」謹賀新年の字に色を塗ったり、色画用紙を切って門松を作ったりと、職員と利用者達は正月準備に忙しい。「完成すると何ができるか楽しみじゃ」手作業を上手く取り入れ、生活に張り合いとメリハリを与えていた。</p>		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人ですることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にされた整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>1. 自主評価について…：ホームは利用者のできる事を見つけ、それぞれの利用者が好きなことを自分で行う意欲につなげていけるように職員は手を出し過ぎず、何がしかいかに何をしたいか、その内面を見極めるよう心掛けている。そして、その取り組みの効果も出始めているので、今後も継続していこうと考えている。従って改善項目は特になし。</p> <p>2. 全体的に見て…：昼夜逆転で夜中に車椅子で動き回っていた人が、リビングルームに畳を敷いて見守りながら寝て貰い、眠れなければ無理して寝なくてもいいよの対応で落ち着いた。歩くバランスを覚えたら歩けるようになるかも知れないとのリハビリの医師の助言で、見守りしながら歩く練習を始めると、本人の歩きたい気持ちと相まって歩けるようになった。ストレスもなくなり、日中動いて夜も寝れるようになった。帰宅願望が強く「死にたい」と言っていた人も、気持ちが通じ合い、ホームの暮らしが体に良いと納得して安定した。ホームの取り組みで良くなった事例は多い。</p>		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	災害対策		
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
34	家族への日常の様子に関する情報提供		
35	運営推進会議を活かした取組		
36	地域との連携と交流促進		
37	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か		
記述回答	<p>1. 自主評価について…：運営体制全般において代表者と統括管理者は共通認識を持ち管理者や職員に良く伝えている。管理者はそれをよく理解し現場で職員と協働して現在の行を更に充実させていこうと意欲的だ。市町村と連携を取りながら地域の人々にも働きかけ認知症の啓蒙拠点としての役割を担おうとしている。</p> <p>2. 全体的に見て…：この地域での医療に貢献してきた母体医療法人が、介護と医療を一体化させた支援を目指して開設したホームに対する、地域からの信頼は大きい。利用者も多く触れ合っている。職員はできる限り常勤採用にする等母体法人は、儲け度外視の全面的なサポートを行っている。利用者・職員共に地元出身者が多いので、恒例のホームの祭りに総勢200人近くが来てくれて大盛況だった。今後は運営推進会議の出席者の幅を上げ、ホーム応援隊を更に増やしてくれる事を期待している。</p>		